

# LH71A 表示分解能(極性)の変更

表示分解能の変更操作は、変更する目的と条件によって操作方法が違います。

変更する目的と条件を下表から選び、操作を行ってください。


変更する目的	操作	説明
測長ユニット分解能を変更する	基本設定 ⇒ 測長ユニット分解能 ⇒ 変更	基本設定で測長ユニット分解能を変更します 続けて、詳細設定で表示分解能も確認します
加算機能を使っていて、それぞれの入力軸に対する極性を変更する	基本設定 ⇒ 加算表示 ⇒ 変更	基本設定で加算表示の選択肢を変更します
表示分解能を変更する	詳細設定 ⇒ 表示分解能 ⇒ 変更	詳細設定で表示分解能を変更します
表示の極性変更をする (カウント方向を逆向き)	詳細設定 ⇒ 表示分解能 ⇒ 極性変更	詳細設定の表示分解能で変更します
直径表示にする(2倍の表示)	詳細設定 ⇒ 表示分解能 ⇒ 直径表示	詳細設定の表示分解能で直径表示に変更します

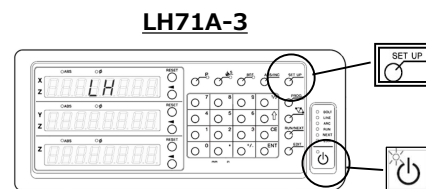
※ 測長ユニットの出力分解能がわからない場合は、別冊の「初期設定マニュアル」を参照してください。

## 基本設定 ⇒ 測長ユニット分解能 ⇒ 変更

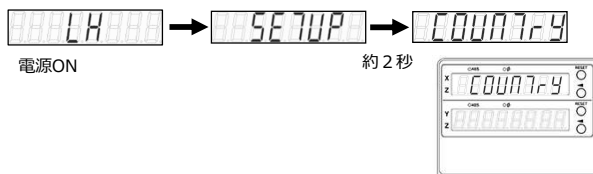
- ① 基本設定のモードにします。

ACアダプタが通電状態で  キーを“ON”

ランプが点滅→消灯に変わってから  キーを長押し3秒





### LH71A-1, LH71A-2の場合






### LH71A-3の場合





- ② 表示が  の状態で、 キーを1回押します

表示が  (測長ユニット分解能) になります。


さらに  キーを押すと、現在の測長ユニット分解能が確認できます。

- ② 表示が  の状態で、 キーを2または3回押します。

表示が  (測長ユニット分解能) になります。

さらに  キーを押すと、現在の測長ユニット分解能が確認できます。

- ③ 変更したい軸の  キーを押して測長ユニット分解能を選択します。



選択が完了したら  キーを押して設定を保存します。

測長ユニット分解能の表示(LH71A-3)




- ④ 基本設定から通常のカウントモードにします

















 キーを1回押すと、表示が  になります。

 キーを1回押すと、表示が  になります。

- ⑤  キーを1回押すと、自動的に詳細設定のモードになり表示が  になります。

 キーを押すと、通常のカウントモードになります。

### 測長ユニット分解能の選択


標準	拡張
	
	
	
	
	
	
	
	
	

 キー  
拡張

## 基本設定 ⇒ 加算表示 ⇒ 変更 (LH71A-3 のみ)

- ① 基本設定のモードにします。


ACアダプタが通電状態で  キーを“ON”

ランプが点滅→消灯に変わってから  キーを長押し3秒


表示が  になります。





- ② 表示が  の状態で、 キーを1回押します。

表示が  (加算表示) になります。

※表示が“Add”にならない場合は、“TYPE”で“LATHE”が選択されてません

さらに  キー を押し、加算表示の選択になります。

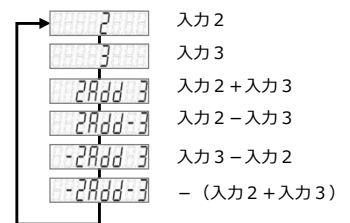
- ③  キーを押し加算表示の選択をします。

選択が完了したら  キーを押し設定を保存します。



### 加算表示の選択(LH71A-3)





### 加算表示(Z軸に表示する入力条件)




- ④ 基本設定から通常のカウントモードにします。

 キーを1回押すと、表示が  になります。

 キーを1回押すと、表示が  になります。


- ⑤  キーを1回押すと、自動的に詳細設定のモードになり表示が  になります。


 キーを押すと、通常のカウントモードになります。


## 詳細設定 ⇒ 表示分解能 ⇒ 変更


- ① 詳細設定のモードにします。

通常のカウントモード通電状態で  キーを押す


表示が  になります。(詳細設定モード)

- ②  キーを1回押す、各軸の表示分解能が表示されます。

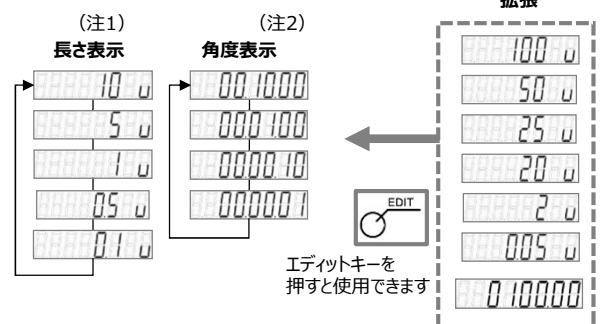
変更したい軸の  キーを押し分解能を選択してください。

2回に1回は  ランプが点灯し直径表示設定になるので注意してください。

選択が完了したら  キーを押し設定を保存します。

通常のカウント状態に戻すには、 キーを押します。

### 表示分解能の選択




注1: 基本設定の測長ユニット分解能より小さな値の選択は表示しません

注2: 角度表示は、基本設定で角度分解能を選択時に設定できます






## 詳細設定 ⇒ 表示分解能 ⇒ 極性変更


- ① 詳細設定のモードにします。


通常のカウントモード通電状態で  キーを押す

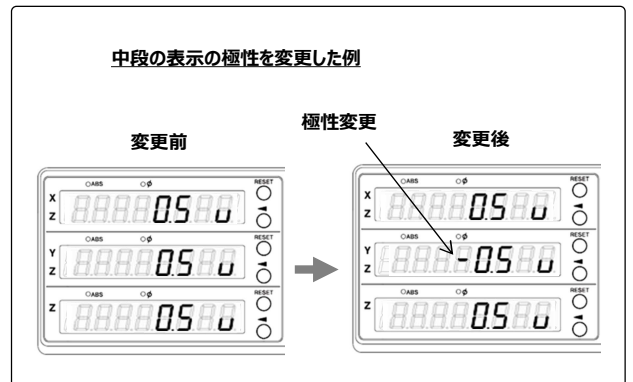
表示が  になります。

- ②  キーを1回押す、各軸の表示分解能が表示されます。

極性を変更したい軸の  キーを押し、続けて  キーを押します。


選択が完了したら  キーを押して設定を保存します。

通常のカウント状態に戻すには、 キーを押します。






## 詳細設定 ⇒ 表示分解能 ⇒ 直径表示

- ① 詳細設定のモードにします。


通常のカウントモード通電状態で  キーを押す


表示が  になります。

- ②  キーを1回押す、各軸の表示分解能が表示されます。

直径表示に変更したい軸の  キーを押して  ランプを点灯させます。

分解能が変わってしまったら、 キーを押してやり直してください。

選択が完了したら  キーを押して設定を保存します。

通常のカウント状態に戻すには、 キーを押します。

